

## 一般社団法人 日本ELVリサイクル機構 ニュースレター

《編集・発行》

一般社団法人 日本ELVリサイクル機構 広報部会

〒105-0004 東京都港区新橋3丁目2-2 一美ビル5F

Tel:03-3519-5181

Fax:03-3597-5171

メール:jaera-homepage@elv.or.jp

URL: http://www.elv.or.jp/

## ～巻頭言～

使用済み自動車の発生台数が300万台を割るといった報道がなされました。新車販売の低迷、車歴が伸びたといった事情もあります。これも時代の流れなのでしょう。時代の変化は車輛減少だけではありません。EV車を初めとする次世代自動車も、やがては当たり前のように入庫してくることになります。そういった背景から考えてもこの業界も大きな転換期、いわゆるパラダイムシフトを迎えようとしています。何人たりともこの流れから逃れることは出来ません。このような時代の変化に対して、今後は

「ビジネスとして成り立つ自動車リサイクル事業」といった課題に業界として取り組む必要があるように思います。我々に与えられた課題は決して易しいものではありませんが、「団結」と「協力」という我々自身の行為行動が、その鍵を握っているような気がします。

どんな状況であろうとも「一陽来復」という言葉があるように、春の来ない冬はありません。この踏ん張りどころで、我々は一致団結し、明るい未来に向かって邁進してゆきたいものです。◇

永田 則男(ELV機構 広報部会・山形県)



巻頭言	1
H24年度社員総会案内	1
ELV機構組織検討委員会報告	1
機構地域活動報告	2
(大阪・栃木・茨城・東京・千葉)	
スクラップ市場最新情報	3
編集後記	3



## 平成24年度日本ELVリサイクル機構 定期社員総会開催が決まりました！

日時：6月15日(金) 14:30～20:00

場所：中央区茅場町鉄鋼会館

<http://www.tekko-kaikan.co.jp/access/access.html>

皆様、奮ってご出席ください！

## 《プログラム》予定

14:30-16:00	社員総会 一般組合員の皆様も 傍聴可能です
16:15-17:45	会員交流会 全ての社員、会員の 皆様が参加して意見交 換を行います
18:00-20:00	懇親会

## ELV機構の基盤組織並びに定款変更に関する委員会報告

～H24年度社員総会への提案事項～

日本ELVリサイクル機構の組織定款検討委員会(委員長 榎本 擴 副代表理事)は、去るH23年9月の第一回会議から合計4回の委員会を開催し、ELV機構が抱える組織問題のあり方、改善策等の検討を行ってまいりましたが、去る、4月26日に開催されたH24年度第1回理事会に最終報告書案を提出しました。

今回の提案は、来る6月15日に開催されるH24年度ELV機構社員総会には上程され、承認後実施されます。報告書案の概要は次の通りです；

## 《社員に関する規定について》

1. 社員は、従来取り機構設立時の拠出金拠出団体である各都道府県単位の地域団体とする。
2. 社員である地域団体は、原則、傘下の全会員をELV機構の会員とする。(本規定が実施された後約1年経過後から有効とする)
3. 社員である地域団体は、傘下に、少なくとも5会員以上を擁するものとする。(本規定が実施された後約1年経過後から有効とする)

## 《社員の決議権について》～決議権の格差是正～

・社員である地域団体の構成事業者が50を超えた場合、会員数を24で除した数の決議権を当該団体に付与する。(注:本項目に該当する社員団体は、現在北海道自動車処理協同組合のみであり、同組合には4票の総会決議権を付与することになる)

## 《運営組織とその運用について》～支部制への転換～

1. 現在11のブロックに区分されているブロックを変更して8ブロック制とする。各ブロックとは、①北海道②東北 ③関東 ④中部・北陸 ⑤近畿 ⑥中国・四国 ⑦九州 ⑧沖縄をいう。
2. 各ブロックは、ブロック単位でブロック長1名と副ブロック長(複数可)

を選出し、選出されたブロック長、または副ブロック長から1名をELV機構の理事候補に推挙する。

3. 地域社員団体に属さない事業者は、該当地域のブロック並びにELV機構常任役員会の承認のもと、当該ブロック所属の機構会員となることできる。

## ～解説～

- ① 機構設立時の基本的考え方である地域団体単位で機構に加入する方式を今後も踏襲するが、地域団体傘下の全事業者がELV機構へ加入していない、又は、傘下会員数が極めて少ない(5業者未満)地域団体は、一定の経過期間を設けて社員の資格を返上して頂くこととなる。
- ② 地域団体に所属しない事業者、或いは、地域団体不在地域の事業者でELV機構加盟希望のものは所在する地域のブロック所属会員となることできる。
- ③ 従来社員総会における決議権は、社員団体規模に関わりなく等しく1票が付与されており、その重みの不公平性が問題視されていたが、今回、その是正の第一歩として、一定の票数計算フォーミュラを導入し、団体規模を反映した決議権が付与される。
- ④ 現在の11ブロック制では、各ブロック所属事業者数に相当の格差があり、その是正が求められていた。今回、所属議業者数の均衡を狙ったブロック統合が提案されている。一機に格差是正を図ることは、諸般の事情から困難であるが、是正の第一歩として地域区分の再編が提案されている。◇

ELV機構事務局

◆大阪自動車リサイクル協同組合（年次総会）

平成24年4月21日(土)大阪市北区の会議室にて、大阪自動車リサイクル協同組合の第8回総会が開催され、会員22社中17社が出席、任期満了に伴う役員改選がおこなわれました。

新理事長に荃村自動車商事(株)の荃村 岳史氏、副理事長には桂木産業(株)の赤松 健一氏を選出、他理事は留任となりました。

今年度の主たる事業として①技術講習会の開催 ②会員間の部品流通の活性化 ③行政との関係強化、などが採択されました。また、10月のリサイクル推進月間には恒例の難波での街頭活動をすることが了承されました。

総会終了後、Officeアイムの森川あやこ先生による講演会、「コミュニケーション実践法」を、各社従業員の皆様も加わった約30名が出席して開催。

「商売繁盛の第一歩はコミュニケーションから！」という事で、イ)笑顔の作り方 ロ)良い姿勢の作り方 ハ)明るくハキハキした話し方 ニ)清潔感溢れる身だしなみ ホ)アイコンタクトの取り方 ヘ)挨拶の大切さ、等、基本的でありながら平素忘れがちな事柄について1時間半にわたり全員で実践しながらの講演会でした。

元女優さんという美人先生のせいか、参加者の評判も良く、全員真剣に取り組んでいました……。

終了後は先生も参加しての懇親会もあり、大変楽しく、有意義な時間を過ごす事が出来ました。組合員が、定期的集ってコミュニケーションを図る事が極めて大切だと感じた1日でした。□

報告:高野 和憲氏(理事・近畿ブロック長)



◆栃木県（地域講習会）

栃木県自動車リサイクル協議会(三枝 透会長)は4月7日、佐野市 佐野商工会議所において地域講習会を開催しました。当日の参加者は、協議会加盟事業者では会長会社の3名のみで、会員外事業者から12名の受講者が参加しました。なお、栃木県自動車リサイクル協議会では、栃木、群馬両県の非会員事業者250社に案内を郵送し、参加を呼びかけました。◇

◆茨城県（地域講習会）

茨城県自動車リサイクル協同組合(川又 正行理事長)は、4月14日、ひたちなか市において地域講習会を開催しました。受講者は、組合員事業者10名、会員外4名の計14名で、他に来賓1名の参加がありました。◇



◆東京都（地域講習会）

東京自動車リサイクル協議会(金子宏会長)は4月22日、調布市教育会館において、インストラクターが講師を務めての約4時間の講習会を開催しました。当日は、当協議会会員8社と非会員7社及び来賓2名の合計17名が参加しました。

東京都が、引き取り及びフロン回収業の登録更新の際、ELV機構講習会受講証明書を習熟の証明として受け入れていただくことが会員外の人たちが講習会に参加するきっかけとなっており、結果としてELV機構の会員増強の一助になれば幸いと思っています。二年後には、解体業の許可更新も控えていることから、ELV機構が使用済自動車の適正処理を推進している唯一の全国団体であることを、機構役員、地域団体、機構事務局が一丸となってPRしていくことが必要ではないかと思えます。□

報告:金子治樹(三協自動車株)



講習会場の様子

◆千葉県（地域講習会）

千葉県自動車解体業協同組合(木内 俊之理事長)は、4月21日午後、木更津商工会議所において地域講習会を開催しました。受講者は、会員22名、会員外5名、計27名を数えました。ご来賓の千葉県環境生活部自動車リサイクル担当 飯田副主幹より、県内における自動車リサイクル法の運用状況並びに、違法業者に対する件の取り組みに関するご講演を頂きました。



今年度より、当該講習会は自治体にも認知され、それなりに権威あるものに育ってきたことは極めて喜ばしいが、その様な情報が開催案内発送前に明らかになっていれば、更に多くの受講者が確保できたのではなかったかと思っています。また、事後テスト内容が講習会テキストに必ずしもカバーされていなかったとの指摘もあり、今後は更なる改善の必要があると思われれます。また、参加者増員の方策として、講習項目に更なる工夫が望まれます。◇

(講習会担当 菊田 裕也様)

5月第3週(16日)の鉄スクラップ動向

韓国、米国No.1ヘビースクラップをCFR460～462ドルで契約

韓国ミルが米国玉を新規にCFR460ドル台で契約したもようだ。貿易筋によると、韓国の現代製鉄は、新規に米No.1ヘビーを1LトあたりCFR460～462ドルで成約した。中堅電炉筋も成約し、合計で2～3カーゴを決めたとされる。

韓国ミルは当初、米国玉をCFR460ドル以下で契約したい意向だった。4月末には一旦、現代製鉄がCFR459ドルで米No.1ヘビーを契約している。しかし、米シッパー筋は、トルコ向けの輸出価格の値上がりや国内需要の堅調さを背景に、CFR460～465ドルを唱えるなど売り腰が強く、再び460ドル台に乗せたところでの契約となった。

これに対して日本のH2スクラップの輸出価格は、直近の契約で1トあたりFOB32,500円どころ。米国玉に比べて割安さが目立つ。

関西鉄連 tender、結果は31,380円

関西鉄源連合会は15日、鉄スクラップ共同輸出入札(tender)を実施し、H2を1トあたり31,380円で5,000ト落札した。前回比2,140円の値下がり。また、10日の関東鉄源協同組合 tender の落札平均価格を139円下回った。

関東地区 東日本の各地区とも様子見横ばいの相場 強気・弱気材料ともに欠ける状況

東日本の鉄スクラップ相場は各地区とも様子見横ばいで推移中だ。新規のH2輸出価格が1トあたりFOB32,500円どころを超えず、伸

び悩み気味。このため相場をけん引する強気材料に欠けている。一方で、5月に入って荷動きが落ち着いてき始めていることから、値下げへの弱気材料にも欠ける状況だ。関東地区のH2炉前実勢価格は30,500～31,500円中心、高値32,000円見当。現在のH2浜値は31,000円中心、高値31,300円。

東海地区 輸出価格が下支えも、市況環境冴えず

名古屋地区の鉄スクラップ市況は需給双方とも模様ながめの格好から横ばい。東西の共同輸出入札がH2FAS価格31,000円台の半ば際で落札されていることで、これが下支え材料となる形で底値感との見方もある。しかし電炉メーカーがスクラップ在庫に余裕を持つての休み明けとなったことに加えて、国内電炉製品の環境難もあり、市況の反転材料に乏しい状況からなお様子見気配。東海地区のH2炉前実勢価格は30,500～31,500円中心。

関西地区 需給双方様子見の市況展開続く 底値を意識する声も

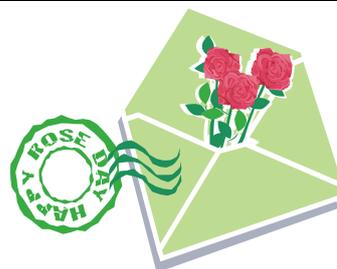
大阪地区の鉄スクラップ市況は需給双方ともに様子見が続いている。8日以降、東京製鉄に値動きがなく、地区実勢水準も先月末から横ばいとなっていることで、市中では底値を意識する声も多く聞かれるようになった。同地区電炉のH2実勢値は31,000～32,000円見当。姫路電炉は4月24日以降、購入価格を据え置いたままだ。同地区のH2炉前実勢価格は31,000～31,500円。◇

(※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、5月16日時点のもの)



5月17日の国内スクラップ炉前実勢価格

		H2	気配
関東	北関東	30,500 ~ 31,500	様子見
	南関東	30,500 ~ 31,500	様子見
名古屋		30,500 ~ 31,500	様子見
関西	大阪	31,000 ~ 32,000	様子見
	姫路	31,000 ~ 31,500	様子見



《編集後記》

- ◇長く厳しかった冬が終わるや否や、夏の節電が取りざたされている。原子力にエネルギーの一部を依存するかどうか、先進各国が避けて通れない重要な課題ではあるが、今、この時点で原発の再開は市民感情として如何であろうか。
- ◇強いEUの担い手の一人である、サルコジ氏がフランス大統領選挙で落選した。名前をパソコンにひら仮名で入力して『変換』すると『去る固辞』とでた。もともと、ポストに止まることが叶わなかったのか、当人はご存じないだろうが。
- ◇その僅か前、ロシアでも大統領選挙があり、大統領と首相の入れ替えと云う、いわば出来レースのような結果となった。民主的と

- は言い難いような気もするが、一方、民主的に選ばれた政治家が必ずしも国民の望む政治を行っていないような国もある。どちらがいいか、といった問題ではないことはわかるが・・・
- ◇6月15日にELV機構の定期社員総会が開催される。栗山代表率いる現在の執行部が人に就いて早くも2年が経過したということだ。大変難しい時期に業界のかじ取り役を務めて頂いた現執行部、役員の皆様には心から敬意を表すると共に、間もなく選出される新役員、新執行部の皆様には、更に、厳しくなる環境のもと、勇気ある業界運営に大いに期待したい。◇

(編集子)